

青森で生きる未来人財育成事業 ボランティアチーム養成講座【第1回】

令和6年6月9日(日)14:00～15:00 県総合社会教育センター 受講者40名

1 内容

【テーマ】「ボランティア活動～思いやりを活かすために～」

【講師】 日本赤十字社青森県支部 主 事 ^{いわい ゆうたろう} 岩井 雄太郎 氏

【経 歴】



2019年から日本赤十字社青森県支部において、救急法講習や災害対応、青少年赤十字に関する業務に従事し、その中でも、青少年赤十字事業では、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、様々な活動を学校教育の中で展開している。日本赤十字社は、「人道」を理念に、国際救護・開発協力、災害救護、安全講習会普及、青少年赤十字活動、ボランティア活動、国際人道法普及など、様々な活動を行っている団体である。

【講義要旨】

- ボランティア活動とは、自発的な意志に基づき、他人や社会に貢献する行為です。活動の性格として、自主性（主体性）や社会性（連帯性）、無償性（無給性）があげられます。
- 日本赤十字社の活動は多種多様ですが、主に、国内災害救護、国際活動、医療事業、看護師養成、青少年赤十字、講習普及、血液事業、赤十字ボランティア、社会福祉の9つの活動があります。
- ボランティアを实践するうえで、相手のニーズ（需要）を考え、本当に必要としているものを提供することが大切です。「相手のニーズに気づく」「ニーズの達成のために必要なことを考える」「考えた計画を实践する」の3つのサイクルで取り組むことが必要です。

2 受講者の感想

- ・ボランティア活動についての詳しい内容を学ぶことができ、活動するにあたって自分はどのような行動をとることが出来るのかを考えることができた。
- ・曖昧だったボランティア活動について詳しく知ることができ、自分の知識の幅を広げることができた。また、質問形式の問いかけが多く、考えながら話を聞いたことでより記憶に残る講義になった。
- ・ボランティア活動をする上で、相手のニーズに気づく、ニーズ達成のために必要なことを考える、考えた計画を实践するという考え方はとても大切だと学ぶことができた。相手が必要としていることを的確に捉える力をつけなければいけないと思った。
- ・ボランティア活動は、自分勝手な行動はしてはいけないということが分かった。自分では良いと考えて行っていることでも、相手にとって迷惑だったり、気分が悪くなってしまったり、当事者にしか分からないことだからこそ、考えて行動するべきだということが分かった。自己満足になってしまわないよう、客観的に見て、もう一度考え直して行動したいと思った。